

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020103-01-026
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広報紙を読んでいる市民の割合 メディアへの情報提供件数（計画期間内累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市内外の住民及び市内に通勤・通学している人 筑紫野市内の企業等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報業務として、市ホームページの掲載内容の確認、SNS（Facebook、X（旧Twitter）、LINE、Instagram、Youtube）の運用、市民便利帳の発行の他、マスコミ等にイベント等の情報を提供しています。</li> <li>・広聴業務は、移動市長室、市政への提案等を実施し、市民の声を取り入れながら、市民参画の市政づくりに努めています。</li> </ul>						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
行政情報の積極的な提供を行うとともに、市民等からの意見・提案を受け入れ、情報の共有化を進め、市民協働のまちづくりを推進します。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
マスコミ等への情報提供件数		件	64	88	70	100			404
市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数		件	249	2,853	20,000	20,000			80,000
5. コスト									
事業費		計	千円	642	949	2,190	766		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	52	52		
一般	千円	642	949	2,138	714				
正職員人工数		人工	1.4	1.4	1.4				
正職員人件費		千円	11,089	10,819	10,941				
トータルコスト（事業費＋正職員人件費）		千円	11,731	11,768	13,131	766			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミ等への情報提供件数は、市制50周年事業の周知もあり、例年よりも増加</li> <li>・ホームページのアクセス件数は、おおむね順調に推移しているものの、当初目標には到達せず。令和5年度以降に向けて、新たな取り組みの検討が必要</li> <li>・広聴事業としては、R4年度中に市政への提案を14件受付、移動市長室を4回実施している。</li> </ul>							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度から「市政への提案」事業を本事業に編入し、広報・広聴を一体とするように取り組みを進めています。</li> <li>・市制施行50周年記念事業としてInstagramを開始。他の情報媒体とは別に魅力発信という面で情報発信を行っています。</li> <li>・移動市長室、市政への提案とともに開始から10年が経過しており、制度の見直しが必要</li> </ul>					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性									
維持 見直し 廃止 事業終了									
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上の魅力発信（シティプロモーション）ページの作成を外部委託するよう検討</li> <li>・移動市長室、市政への提案とともに開始から10年が経過していることから、制度の見直しを検討</li> </ul>									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Facebook、X、LINEは順調に推移。YouTubeは伸び悩み</li> <li>・令和4年2月から新たにInstagramの運用を開始</li> <li>・令和4年3月から新たに魅力発信に関するページを立ち上げ</li> <li>・移動市長室、市政への提案とともに開始から10年が経過しており、制度の見直しが必要</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24年度から移動市長室、市政への提案開始</li> <li>・H26年度から市公式Facebook・X（旧Twitter）開始</li> <li>・H27年度から市公式Youtube開始</li> <li>・R2年度から市公式LINE開始</li> <li>・R3年度から市ホームページをリニューアル、市公式Instagram開始</li> </ul>				

事務事業名 広報「ちくしの」発行事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：27

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020103-02-027
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広報紙を読んでいる市民の割合 メディアへの情報提供件数（計画期間内累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市民及び市内に通勤・通学している人（市民等） 筑紫野市内の公共施設等			「広報ちくしの」は、筑紫野市広報紙発行規則（昭和47年3月16日規則第9号）に基づき月1回発行し、区長を通じて各世帯に配付しています。 発行部数は令和4年度は、毎号約44,200部となっています。（各世帯、市内各施設、市役所各課など）  毎月、各課や市民から提出された原稿を秘書広報課で編集し、複数回の校正を経て発行しています。また、行政情報の圧縮、特集の掲載、表紙の写真掲載など紙面の改善を行っています。 市民アンケートの結果などから、月2回だった発行回数を、令和3年度から月1回に変更、併せて全面カラー化へとリニューアルを行いました。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
行政情報や市の魅力等が正確に市民等に伝わり、理解され、行動に結びついています。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標	
広報紙を読んでいる市民の割合		%	79.8	79.3	85	85			85	
市からの情報提供の質や量が十分だと思う市民の割合		%	86.8	88.3	88.8				91.4	
5. コスト										
事業費		計	千円	12,728	14,199	17,845	18,807			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	734	1,211	1,413	660			
一般	千円	11,994	12,988	16,432	18,147					
正職員人工数		人工	1.4	1.4	1.4					
正職員人件費		千円	11,089	10,819	10,941					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	23,817	25,018	28,786	18,807				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		・まちづくりアンケートによると、広報紙を読んでいる割合は横ばいである一方で、情報提供の量と質の満足度はやや増加しています。 ・計画的な記事掲載など、紙面を継続的に改善しています。令和3年度からは月1回発行となり全面カラーなどリニューアルを行いました。今後は、インターネット上での配信も進めつつ、引き続き、読みたくなる広報紙であるよう工夫を重ねていきます。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	市民に対しては広報紙が情報発信の中心であることは変わりないため、インターネット上での配信も進めつつ、引き続き、読みたくなる広報紙であるよう工夫を重ねていきます。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
令和3年度から毎月1回の発行に変更。市民が親しみやすい情報を掲載し、全面カラー化するなど、手に取り読みたくなる広報紙へと改善を図っている。 また、市ホームページ、SNSなどを通じて、紙媒体だけでなくインターネット上においても、「広報ちくしの」を提供している。						・広報紙については、市ホームページにも毎号掲載 ・Facebook、X（旧Twitter）、スマートフォンアプリ「マチイロ」にて、市ホームページへのリンクを設定することで、広報紙を配信 ・R2.3からLINEにおいても同様に広報紙の配信を開始				

事務事業名「つくしちゃん」積極活用事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1724

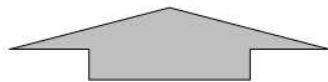
施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020101-39-018
基本事業：	02	市の魅力の情報発信	担当部	総務部
基本事業の成果指標	市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数 SNSフォロワー数 市の魅力をPRするために作成・発信したコンテンツ数（計画期間内累計） この1年間で友人・知人に筑紫野市の良さを伝えたことがある市民の割合		担当課	総務課
			担当係	総務担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市内外住民			<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのつくしちゃんの着ぐるみの積極的な活用。その様子を「つくしちゃんの出勤フォト日記」としてホームページに公開。</li> <li>・刊行物等へのつくしちゃんのイラストの積極的な活用。</li> <li>・ラインスタンプ、グッズ（ピンバッジ、CD等）の販売・配布</li> </ul>							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市のイメージアップと知名度向上の一助となることを目的に、「つくしちゃん」の露出回数を増加させることで愛着や印象を持ってもらい、「つくしちゃん」の認知度を向上させる。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	03年度実績	04年度実績	05年度当初	06年度要求	07年度計画	08年度計画	目標	
着ぐるみの貸し出し回数		回	10	26	50	50				
「つくしちゃん」の認知度（市民アンケート）		%	88.2	89.9	90	90				
5. コスト										
事業費		計	千円	32	31	46	3,679			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般		千円	32	31	46	3,679				
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3					
正職員人件費		千円	2,376	2,318	2,345					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,408	2,349	2,391	3,679				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		新型コロナウイルス感染症によるイベントも、中止ではなく規模を縮小・限定して実施するイベントも増えてきたことから、着ぐるみ貸し出し回数も増加した。「つくしちゃん」の認知度について、市民アンケートで平成30年度から質問項目を設けており、令和4年度は「イラストも愛称も知っている」54.5%、「イラストだけ知っている」30.8%、「愛称だけ知っている」4.6%となっている。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし		【状況】着ぐるみ貸し出しについて、例年同一イベントでの貸し出しが多い。コロナ禍で貸出件数が減少していたが、イベントの実施増加に伴い、増加している。 【課題】イベント等の実施がさらに増加することが予想されるので、貸し出し制度の周知を積極的に行う。イラストや着ぐるみ等について、積極的な活用を促していく。					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり							
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり							
成果向上余地	大きい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
着用時の暑さを軽減するタイプの着ぐるみを作製すると共に、より効果的なPRを目的に法被と幟も作製した。ラインスタンプ、ピンバッジ、CD、DVD、シールを作成しており、市民に提供するとともに、各課の行事等で活用してもらい、市のPRに活用してもらう。					マスコットキャラクターは、シティプロモーションを効果的に行っていくための手段であることから、所管部署の変更について関係課と協議していく必要がある。					
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄					
近年、自治体のマスコットキャラクターは「ゆるキャラ」としてイベントのPRや自治体の顔として重要な役割を担うようになってきている。										

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	--
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	企画政策部
基本事業の 成果指標			担当課	企画政策課
			担当係	企画政策担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和03年度 ~ 令和04年度	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		50周年記念事業を（株）西日本新聞社に委託し、様々な特別記念事業、各課主催の冠事業を実施。 【スケジュール】 R3.11.30 契約 R3.12~ スケジュール、記念誌、記念動画、記念事業等の打ち合わせ R4.4.1 オープニングイベント R4.4~ 各種記念事業打ち合わせ及び事業実施 R4.11.6 記念式典 R5.2~3 市制施行50周年事業まとめ 【主な特別記念事業】 ・市民参加型創作劇 ・物産販売会 ・二日市温泉温泉絵制作 ・あびす醤油の味噌づくり体験 ・健康セミナー ・フードドライブ				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
市民一人ひとりが、市制50周年記念事業に関心を抱き、本事業を通じて筑紫野市との関係性を再認識し、過去、現在、未来に意識を向ける契機となること、また、市民が一体となって事業を盛り上げることを目指す。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
特別記念事業の実施数	回		20		0			
					0			

5. コスト								
事業費	計	千円	4,295	10,590				
	国	千円	0	0				
	県	千円	0	0				
	地方債	千円	0	0				
	その他	千円	0	0				
一般	千円	4,295	10,590					
正職員人工数	人工		0.4	1.1	0	0		
正職員人件費	千円		3,168	8,501	0			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		7,463	19,091	0			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	特別記念事業は委託事業者と連携をとりながらあらゆる事態に対応出来るよう準備を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により縮小した事業もあるが20事業を実施。冠事業についても規模縮小や中止をせざる得ないものがあったが可能な範囲で事業が実施された。11月6日の記念式典には来賓含め411名が出席した。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし
成果向上余地	小さい		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
新型コロナウイルス感染症や災害など不測の事態による影響があったが、委託事業者や関係機関と連携して取組んだ。記録を整理し、60周年事業につなげていきたい。	

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
一人でも多くの市民に周年を周知すること、この街にある自然や存在する人々と生涯暮らしていくことを意識づける契機としてこの事業を実施するもの	【主な冠事業】 ・筑紫野市民水泳大会 ・自然観察会 ・はたちのつどい ・市民体育祭 ・ちくしの人形劇まつり